

令和元年度

事業概要書

令和元年8月9日

豊後高田土木事務所

目 次

1. 職員現員数	1
2. 管内の状況	
(1) 管内の現況	2
(2) 道路現況(国道・県道)	3
(3) 河川現況	4
(4) 港湾現況	4
(5) 砂防現況	5～6
3. 令和元年度の事業概要	
(1) 主要施策(重点事業)の概要	7～10
(2) 令和元年度公共事業施工箇所調書	11～13
(3) 単独事業費調書	14
(4) 災害復旧事業進捗状況調書	15
(5) 検査箇所調書	15
4. 用地登記事務処理状況	16

1. 職員現員数

(平成31年4月26日現在)

組織		職 種		技能労務職員						計	非常勤 嘱託職員	長期 臨時職員	
		一般行政職員		事務補佐	技術補佐	技 師	道路パト ロール員	土 木 巡 視 員	業務技師 (道路パトロール)				
		事務	技術										
現 員	所 長		1							1			
	総 務 課	次長兼課長	1								1		
		総務班	5				1				6	1	
		用地班	3								3	3	
	建 設 ・ 保 全 課	課長		1							1		
		管理班	2						1		3	1	
		保全班		5				1			6	1	
		企画・道路班		5							5		
		河港砂防班		3							3		
	現 員 合 計		11	15	0	0	1	1	1	0	29	6	0

2. 管内の状況

(1)管内の状況

当事務所の管理区域は、平成17年3月31日に旧豊後高田市、旧真玉町、旧香々地町の1市2町が合併した豊後高田市の1市からなっている。管内総面積は約206.24km²であり県全面積の約3%を占め、人口は22,687人(平成31年3月末日現在)となっている。

①地 形

当管内は、大分県の北部、国東半島の北西部に位置し、山地部は、瀬戸内海国立公園及び国東半島県立自然公園に指定され海岸部は周防灘に面している。市の東部から南部にかけて、ハジカミ山、尻付山、両子山や日本三叡山に数えられる西叡山などの山々が連なり、国東半島の中央部にある両子山から放射状に谷や峰々が延びた地形で、その谷間を桂川、真玉川、竹田川が流れ、河口付近に市街地が形成されている。

②産 業 等

管内には、地域ブランドとして西日本一の生産量を誇る「白ネギ」、春秋の2回栽培ができる「豊後高田そば」などの農業、浅海地域では観光潮干狩りが盛んで、リアス式海岸地域には刺し網漁、小型定置網漁、籠漁などが営まれ、沖合では牡蠣や赤貝の養殖も行われている。

産業では、平成11年以降大分北部中核工業団地を中心に、OA機器や精密製品、自動車関連部品(プラスチック・ゴム製品)の製造が盛んとなり、企業社数は20社(平成29年度)を数え、主に中津市、北九州市、関東方面(名古屋、静岡)へ出荷している。

③観 光 等

管内には、昭和30年代の賑わいを再現し、映画やドラマのメインロケ地にもなった「昭和の町」や国道213号沿いには「粟嶋神社」、「日本の夕日百選・真玉海岸」、「花とアートの岬・長崎鼻」、それらを結ぶ「恋叶ロード」などの観光名所がある。

世界農業遺産としても評価された中世荘園の田園がそのまま残る「田染荘」や、真木大堂、富貴寺に代表される独自の神仏習合文化「六郷満山文化」の史跡、そのほか、国東半島最大の岩峰群である中山仙境(夷谷)など、豊かな自然と歴史文化などの地域資源が豊富な地域である。

(2) 道路現況(国道・県道)

(道路)

(平成30年4月1日現在)

道路種別	路線数	実延長(km)	改良別内訳				路面別内訳			
			改良済(km)	%	未改良(km)	%	舗装済(km)	%	未舗装(km)	%
一般国道	1	23.7	23.7	100.0	0.0	0.0	23.7	100.0	0.0	0.0
主要地方道	4	39.0	37.8	96.9	1.2	3.1	39.0	100.0	0.0	0.0
一般県道	8	57.2	42.5	74.3	14.7	25.7	56.0	97.9	1.2	2.1
計	13	119.9	104.0	86.7	15.9	13.3	118.7	99.0	1.2	1.0

※改良済:舗装幅が5.5m以上の道路 旧道は除く

※端数処理のため合計値は各種別の合計と一致しない

(橋梁)

(平成30年4月1日現在)

道路種別	箇所数	延長(m)
一般国道	21	456.0
主要地方道	20	510.0
一般県道	35	648.0
計	76	1,614.0

(トンネル)

(平成30年4月1日現在)

道路種別	箇所数	延長(m)
一般国道	6	2,137.0
主要地方道	3	637.0
一般県道	2	141.0
計	11	2,915.0

(3) 河川現況

(平成31年4月1日現在)

河川名	延長(m)	河川名	延長(m)	河川名	延長(m)
田 笛 川	3,656	高 宇 田 川	960	羽 根 川	3,200
明 野 川	1,980	石 部 川	3,679	竹 田 川	8,560
桂 川	17,800	広 瀬 川	6,120	八 幡 川	1,830
御 玉 川	1,800	近 広 川	2,230	見 目 川	4,825
都 甲 川	12,530	赤 坂 川	5,090		
長 岩 屋 川	4,890	真 玉 川	11,720		
内 山 川	360	恵 良 川	2,885		
丸 山 川	2,920	臼 野 川	5,280		
露 川	5,140	北 川	1,735		
小 崎 川	2,965	堅 来 川	4,955	計 24 河川	117,110

(4) 港湾現況

(平成31年4月1日現在)

港湾名	区 分	備 考
高 田 港	地 方 港 湾 (重要港湾以外の港湾区域の定のある港湾)	
臼 野 港	地 方 港 湾 (重要港湾以外の港湾区域の定のある港湾)	
堅 来 港	地 方 港 湾 (重要港湾以外の港湾区域の定のある港湾)	
羽 根 港	地 方 港 湾 (重要港湾以外の港湾区域の定のある港湾)	
真 玉 港	56 条 指 定 水 域 (港湾区域の定めのない港湾)	

(5) 砂防現況

(砂防指定地)

(平成31年4月1日現在)

溪流名	指定延長(m)	溪流名	指定延長(m)	溪流名	指定延長(m)
長岩屋川	7,780	原川	290	明ノ迫川	600
並石川	2,000	白野川	7,000	八幡川	1,260
丸山川	3,000	真玉川	9,300	西夷川	1,900
小崎川	4,650	大岩屋川	2,500	金林川	1,450
露川	5,000	西払川	1,500	松津川	1,100
相原川	5,000	赤坂川	4,800	下坊中川	162
熊野川	4,500	横泊川	2,100	長小野川	121
松行川	650	根の木川	1,100	第2田ノ口川	240
迫田川	2,800	坂敷川	700	大力川	120
茂原川	2,300	西畑川	1,100	第2上坊中川	229
両田川	2,500	重野川	222	門出谷川	550
西原川	2,700	堅来川	4,500	築地第一川及び 築地第二川	520
影平川	1,580	羽根川	3,600	第2琴ノ組川	370
大屋敷川	368	見目川	5,000	梅ノ木川	650
日平川	465	竹田川	7,950	横岳谷川	320
梅田川	610	湊川	1,200	新城川	290
鶴谷川	1,044	高島川	1,250	中村第一川	190
朝日川	710	小池川	850	影平川	250
夏吉川	600	小野迫川	600	築地第3川	190
今下田川	182	前田川	798	下長岩屋第1川	申請手続中
北川	1,800	田ノ口川	745		
北川支川	500	波戸川	1,400		
琴ノ組川	480	小河内川	900	計 66 溪流	121,136

(急傾斜地崩壊危険区域)

※1:旧豊後高田市 ※2:旧真玉町 ※3:旧香々地町

市町村名	地域名	区分	指定面積(a)	
豊後高田市	玉津	概成	124	※1
	権毛	概成	23	※1
	野部	概成	91	※1
	真中	概成	156	※1
	蒨	概成	140	※1
	新城1	概成	195	※1
	新城2	概成	90	※1
	茂原	概成	40	※1
	相原	概成	71	※1
	下屋敷	概成	160	※1
	米山	概成	48	※1
	北の迫	概成	83	※1
	池部	概成	142	※1
	2号相原	概成	95	※1
	小田原	概成	201	※1
	上野	概成	191	※1
	畑	概成	144	※1
	内山	概成	153	※1
	野添	概成	80	※1
	来縄	概成	87	※1
	3号相原	概成	30	※1
	真中(注1)	概成	84	※1
	迫	概成	50	※1
	2号真中	概成	70	※1
	大村	概成	110	※1
	荒尾	一部概成	指定手続中	※1
2号来縄	概成	38	※1	

全:51箇所のうち
概成:46箇所
一部概成:4箇所
実施中:1箇所
未着手:0箇所

(平成31年4月1日現在)

市町村名	地域名	区分	指定面積(a)	
豊後高田市	夏吉	一部概成	10	※1
	浜田	概成	71	※1
	ホキ	概成	90	※1
	真玉	概成	61	※2
	浜東	一部概成	30	※2
	常盤	概成	12	※2
	東浜	概成	38	※2
	赤坂	概成	10	※2
	臼泊	概成	40	※2
	小林	一部概成	50	※2
	三分一	概成	66	※2
	下黒土	概成	331	※2
	香々地	概成	121	※3
	松津	概成	100	※3
	尾崎	概成	191	※3
	東羽根	概成	240	※3
	脇	概成	69	※3
	石場	概成	189	※3
	堀切	概成	50	※3
	東松津	概成	90	※3
	金伏	概成	110	※3
	見目	概成	160	※3
	2号見目	概成	130	※3
堅来	概成	168	※3	
平ノ下	実施中	99	※1	
合計	51箇所		5,222	

(旧豊後高田市:30箇所, 旧真玉町:9箇所, 旧香々地町 12箇所)

注1:真中地区(2つの指定区域)を1箇所としている

3. 令和元年度の事業概要

(1) 主要施策(重点事業)の概要

1) 事業名

道路改良事業

● 一般国道 国道213号 道路改良事業(香々地～真玉バイパス)

① 事業の目的及び趣旨

国道213号は、国東半島の各地域を結び、地域の物流や生活を支える幹線道路である。さらに、当路線は竹田津港から周防灘フェリーを経由し、広島・関西方面へ向かう最短ルートとなることから観光や物流の主要なルートとなっている。また平成30年7月豪雨による東九州自動車道の通行止めの際には、周防灘フェリーの利用者が大幅に増え、ダブルネットワーク機能も果たすことが確認された。しかし当該区間の現道は、リアス式海岸に沿って急カーブが多く、平成29年6月には海岸側の断崖部が崩落し、現道まで達する災害なども発生している。また、小中学校の通学路でもあるが歩道もなく、歩行者等も危険な状況にさらされている。このため、円滑な交通機能の確保、交通安全を目的として平成13年度から道路改良事業に着手している。

② 事業の執行状況及び成果

全体計画は、延長2,830m(事業費52億7千8百万円)であり、主な構造物は、トンネル2本、橋梁4橋である。平成17年度から用地買収を行い、平成19年度からは白野地区の工事に着手し、平成27年度に240m、平成28年度は350mの区間を部分供用している。平成30年度は小池地区の設計及び用地買収、家屋移転補償を行なった。令和元年度は、用地買収の進捗を図り、トンネル検討に必要な環境調査を行う。

● 主要地方道 豊後高田安岐線 道路改良事業(小田原工区)

① 事業の目的及び趣旨

当路線は、県北地域と大分空港を結ぶ広域的なルートであり、また大分北部中核工業団地等の物流拠点や、昭和の町と国宝富貴寺、田染荘等の主要な観光拠点を結ぶ重要な道路である。しかし当該区間の現道は幅員が狭く、また3つのカーブが連続する不規則な線形となっており、冬季にはスリップ事故が多く発生している。このため、円滑な交通機能の確保、交通安全を目的として平成24年度から道路改良事業に着手している。

② 事業の執行状況及び成果

全体計画は、延長980m(事業費9億9千万円)の現道拡幅であり、主な構造物は、橋梁1橋である。平成29年度までに3連続屈曲カーブのあった580mを改良し部分開通している。平成30年度は小田原橋の下部工工事を施工し、令和元年度は橋梁上部工工事を施工予定である。

● 一般地方道 新城山香線線 道路改良事業(梅木北・梅木南・田染池部工区)

① 事業の目的及び趣旨

当路線は、国東半島の主要観光拠点である両子寺や国宝富貴寺、真木大堂など六郷満山霊場と交通拠点である東九州自動車道及び国道10号を結ぶ重要な観光ルートになっている。

しかし当該区間の現道は見通しが悪く、幅員も狭いことから、小型車の離合も困難な区間がある。

このため、円滑な交通機能の確保と国東半島地域における観光地アクセスの向上を目的として、平成17年度から道路改良事業に着手している。

② 事業の執行状況及び成果

梅木北工区の全体計画は、延長587m(事業費9億95百万円)のバイパスであり、主な構造物は、橋梁1基、トンネル1本である。

令和元年度は約300m区間の道路改良工事を施工予定である。

梅木南工区の全体計画は、延長1635m(事業費9億40百万円)のバイパスであり、令和元年度は用地買収と一部工事に着手予定である。

田染池部工区の全体計画は、延長960m(事業費4億94百万円)の現道拡幅であり、主な構造物は、函渠工1基である。

平成30年度までに約860mを改良して部分開通しており、令和元年度は残り100m区間の道路改良工事を施工予定である。

2) 事業名

道路施設修繕事業

① 事業の目的及び趣旨

近い将来に発生が予想される南海トラフ巨大地震等の巨大地震が発生した場合でも、国道213号などの緊急輸送道路ネットワークを確保するため、橋梁の耐震化を図る。

また、今後高度経済成長期を中心に建設された多くの橋梁やトンネルが一斉に高齢化することから、「大分県橋梁長寿命化計画」、「大分県トンネル長寿命化計画」に基づき、道路施設の定期点検を着実にを行い、対策が必要と判断された施設について計画的に補修工事を実施する。

② 事業の執行状況及び成果

橋梁の耐震化については、早期の対策が必要な12橋のうち、平成30年度までに12橋すべての対策を完了した。

令和元年度は、令和2年度以降の次期計画で対策が必要な両豊橋の工事と樋ノ口橋の調査設計に着手する。

橋梁の補修については、対策が必要な21橋のうち、平成29年度までに20橋の対策を完了した。

残り1橋となった影平橋を改良工事で架け替えることで対策を完了する予定。

トンネルの補修については、早期の対策が必要と判断された11箇所のうち、平成29年度までに全ての対策が完了した。

令和元年度は、定期点検で新たに対策が必要と判断された小池トンネルと小池人道トンネルの補修工事に着手する。

3) 事業名

桂川 広域河川改修事業

① 事業の目的及び趣旨

桂川は、国東半島中心部に位置する両子山に源を発し、周防灘に流入する流域面積126.5km²の2級河川である。桂川の中上流区域は、河積が小さく、水害氾濫の常襲地帯となっており家屋等の流出が危惧される。

このため、平成2年度から森～小田原間において、環境の保全、親水性の向上に配慮しつつ、治水安全度の向上を図っている。

なお、平成9、10年には、上流の田染真中地区において多数の家屋浸水被害を受けたことから、河川断面を阻害している固定堰の改築や築堤を実施した。

② 事業の執行状況及び成果

全体計画は、延長6,100m(事業費40億3千万円)で、平成30年度までに約5.2kmを完了した。

令和元年度は、(主)豊後高田安岐線(小田原工区)道路改良事業とともに、桂川を渡河する橋梁の上部工を施工予定である。

4) 事業名

桂川 総合流域防災事業

① 事業の目的及び趣旨

桂川は、国東半島中心部に位置する両子山に源を発し、周防灘に流入する流域面積126.5km²の2級河川である。

特に森地区においては、一部において堤防高さの低い箇所が存在していた。そこで、平成30年度7月豪雨等の近年の災害を踏まえ実施した重要インフラの緊急点検結果に基づき、堤防に関する緊急対策として、築堤等を整備し、早期に地域の安全性の向上を図る。

② 事業の執行状況及び成果

令和元年度は、測量・設計及び用地買収を行い、一部工事着手予定である。

5) 事業名

下長岩屋第1川 火山砂防事業

① 事業の目的及び趣旨

豊後高田市長岩屋地区に位置する下長岩屋第1川は、流域0.22km²の土石流危険溪流であり、その上流域では荒廃が進み山腹崩壊が生じ不安定土砂が多量に堆積している。

そのため、人家、指定避難所(戴星学園)、避難路である地蔵峠小田原線を保全する砂防堰堤工事を平成29年度に着手した。

② 事業の執行状況及び成果

平成30年度に調査・設計を行い、令和元年度は用地測量・用地買収に着手予定である。

6) 事業名

朝日川 火山砂防事業

① 事業の目的及び趣旨

豊後高田市松行地区に位置する朝日川は、流域0.12km²の土石流危険溪流であり、その上流域では荒廃が進み山腹崩壊が生じ不安定土砂が多量に堆積している。

そのため、人家、公民館(避難所)、避難路である豊後高田国東線及び地蔵峠小田原線を保全する砂防堰堤工事を平成26年度から着手した。

② 事業の執行状況及び成果

平成26年度に調査・設計を行い、平成27年度には用地測量、平成28年度は用地買収に着手し完了した。

平成29年度から、砂防堰堤及び工事用道路に着手し、令和元年度も引き続き工事の進捗を図る予定である。

(2) 令和元年度公共事業施工箇所調書

※注1: 工事費は内示額または交付申請予定額であり、執行額とは異なります。

※注2: 事務費除きの工事費を記載しています。

図面 番号	区 分	種 別	工 種	路線・河川 港 湾 名	位 置		工事費(千円) ()は用地補償費	新規 継続 の別	概 要	上段:全体事業費 中段:令和元年度 下段:令和元年度以降	C=金額(千円) L=延長(換算) H=高さ(換算) A=面積(換算)
					市町村	大字					
1	道 路	防災・安全 交付金	道路改良	国道213号	豊後高田市	小池～ 臼野	34,000 (-)	継続	C = 5,278,000 C = 34,000 C = 3,807,000	L = 2,830m L = 18m L = 2,041m	
2	道 路	社会資本 整備総合 交付金	道路改良	豊後高田国東線	豊後高田市	一畑2	30,000 (5,000)	新規	C = 500,000 C = 30,000 C = 481,000	L = 880m L = 53m L = 847m	
3	道 路	防災・安全 交付金	道路改良	豊後高田安岐線	豊後高田市	小田原	185,000 (-)	継続	C = 992,000 C = 185,000 C = 314,000	L = 980m L = 183m L = 310m	
4	道 路	社会資本 整備総合 交付金	道路改良	新城山香線	豊後高田市	梅木北	100,000 (-)	継続	C = 995,000 C = 100,000 C = 296,000	L = 587m L = 59m L = 175m	
5	道 路	社会資本 整備総合 交付金	道路改良	新城山香線	豊後高田市	梅木南	50,000 (10,000)	継続	C = 940,000 C = 50,000 C = 803,000	L = 1,740m L = 93m L = 1,486m	
6	道 路	社会資本 整備総合 交付金	道路改良	新城山香線	豊後高田市	田染池部2	100,000 (3,500)	継続	C = 494,000 C = 100,000 C = 110,000	L = 960m L = 194m L = 214m	
7	道 路	防災・安全 交付金	交通安全	国道213号	豊後高田市	新地	72,000 (-)	継続	C = 350,000 C = 72,000 C = 247,000	L = 270m L = 56m L = 190m	
8	道 路	防災・安全 交付金	交通安全 (段差解消)	国道213号	豊後高田市	新地	6,200 (-)	継続	C = 190,000 C = 6,200 C = 110,000	L = 270m L = 9m L = 156m	
9	道 路	防災・安全 交付金	トンネル補修	国道213号	豊後高田市	堅来	13,000 (-)	継続	C = 25,000 C = 13,000 C = 13,000	N = 2箇所 N = 2箇所 N = 2箇所	
10	道 路	防災・安全 交付金	橋梁補修 (耐震補強)	中津高田線 外	豊後高田市	水崎外	107,000 (-)	新規	C = 375,000 C = 107,000 C = 277,000	N = 2橋 N = 2橋 N = 2橋	
11	道 路	防災・安全 交付金	橋梁補修	国道213号	豊後高田市	堺外	19,000 (-)	継続	C = 33,000 C = 19,000 C = 27,000	N = 2橋 N = 2橋 N = 2橋	
12	道 路	防災・安全 交付金	橋梁補修	豊後高田安岐線	豊後高田市	佐野外	12,000 (-)	新規	C = 22,000 C = 12,000 C = 22,000	N = 1橋 N = 1橋 N = 1橋	

13	道路	防災・安全 交付金	災害防除	豊後高田安岐線 外	豊後高田市	小田原外	212,000 (10,000)	継続	C = 909,000 C = 212,000 C = 625,000	L = 906m L = 211m L = 623m
14	道路	防災・安全 交付金	舗装補修	管内一円(国道)	豊後高田市	管内一円	16,000 (-)	継続	C = 16,000 C = 16,000 C = -	L = 150m L = 150m -
15	道路	防災・安全 交付金	舗装補修	管内一円(県道)	豊後高田市	管内一円	17,000 (-)	継続	C = 17,000 C = 17,000 C = -	L = 180m L = 180m -
16	道路	防災・安全 交付金	橋梁点検	管内一円(国道)	豊後高田市	管内一円	5,000 (-)	継続	C = 5,000 C = 5,000 C = -	- - -
17	道路	防災・安全 交付金	橋梁点検	管内一円(県道)	豊後高田市	管内一円	10,000 (-)	継続	C = 10,000 C = 10,000 C = -	- - -
18	道路	防災・安全 交付金	附属物点検	管内一円(国道)	豊後高田市	管内一円	3,000 (-)	継続	C = 3,000 C = 3,000 C = -	- - -
19	道路	防災・安全 交付金	のり面土工構造 物点検	管内一円(国道)	豊後高田市	管内一円	2,500 (-)	継続	C = 2,500 C = 2,500 C = -	- - -
20	道路	防災・安全 交付金	のり面土工構造 物点検	管内一円(県道)	豊後高田市	管内一円	2,500 (-)	継続	C = 2,500 C = 2,500 C = -	- - -
21	道路	社会資本 整備総合 交付金	道路改良	地蔵峠小田原線	豊後高田市	長岩屋	80,000 (-)	新規	C = 80,000 C = 80,000 C = -	L = 160m L = 160m -
			道路費計	21箇所			1,076,200 (28,500)			

令和元年7月31日現在

※注1:工事費は内示額または交付申請予定額であり、執行額とは異なります。
 ※注2:事務費除きの工事費を記載しています。

図面 番号	区 分	種 別	工 種	路線・河川 港 湾 名	位 置		工事費(千円) ()は用地補償費	新規 継続 の別	概 要 上段:全体事業費 中段:令和元年度 下段:令和元年度以降	C=金額(千円) L=延長(換算) H=高さ(換算) V=体積(換算)
					市町村	大字				
22	河川	防災・安全 交付金	広域河川改修	桂川	豊後高田市	小田原	70,000 (-)	継続	C = 4,051,900 C = 70,000 C = 126,000	L = 6,100m L = 105m L = 190m
23	河川	防災・安全 交付金	総合流域防災	山国・国東圏域(樹木伐採・土砂掘削)	豊後高田市	桂川	24,000 (-)	新規	C = 24,000 C = 24,000 C = 24,000	N = 1式 N = 1式 N = 1式
24	河川	防災・安全 交付金	総合流域防災	桂川(円滑な避難対策)	豊後高田市	森	226,000 (60,000)	新規	C = 450,000 C = 226,000 C = 450,000	L = 800m L = 402m L = 398m
			河川費計	3箇所			320,000 (60,000)			
25	港湾	地方創生推 進交付金	地方港湾改修 (改修)	臼野港 (臼野地区)	豊後高田市	臼野	35,000 (-)	継続	C = 374,000 C = 35,000 C = 298,000	L = 490m L = 46m L = 390m
26	港湾	地方創生推 進交付金	地方港湾改修 (統合補助)	臼野港 (臼野地区)	豊後高田市	臼野	21,000 (-)	継続	C = 21,000 C = 21,000 C = -	V = 2000m3 V = 2000m3 -
27	港湾	防災・安全 交付金	統合補助 (延命化)	高田港 (呉崎地区)	豊後高田市	呉崎	18,000 (-)	継続	C = 597,000 C = 18,000 C = 569,000	N = 20箇所 N = 1箇所 N = 19箇所
			港湾費計	3箇所			74,000 (-)			
28	砂防	防災・安全 交付金	火山砂防 (砂防堰堤)	朝日川	豊後高田市	松行	75,000 (-)	継続	C = 290,000 C = 75,000 C = 165,100	H = 8.0m H = 2.1m H = 4.6m
29	砂防	防災・安全 交付金	火山砂防 (砂防堰堤)	下長岩屋第1川	豊後高田市	長岩屋	23,000 (8,000)	継続	C = 299,000 C = 23,000 C = 265,800	H = 7.5m H = 0.6m H = 6.7m
30	砂防	防災・安全 交付金	緊急改築 (急傾斜)	香々地地区	豊後高田市	香々地	10,000 (-)	継続	C = 135,000 C = 10,000 C = 121,000	L = 230m L = 17m L = 206m
31	砂防	防災・安全 交付金	緊急改築 (急傾斜)	権毛地区	豊後高田市	玉津	20,000 (2,000)	新規	C = 50,000 C = 20,000 C = 50,000	L = 100m L = 40m L = 100m
32	砂防	防災・安全 交付金	砂防事業 調査費	管内一円	豊後高田市	管内一円	21,000 (-)	継続	C = 21,000 C = 21,000 C = 21,000	N = 47箇所 N = 47箇所 N = 47箇所
			砂防費計	5箇所			149,000 (10,000)			

令和元年7月31日現在

令和元年7月31日現在

(3) 単独事業費調書

※注1: 工事費は各事業担当課の作業値を記載しており、執行額とは異なります。

※注2: 歳入不足等が生じた場合は変更が生じる可能性があります。

※注3: 事務費除きの工事費を記載しています

事業名	工事費(百万円)	摘要
交通安全事業	34.991	交安維持17.0 交安二種11.670 弱者6.321
側溝整備事業	5.543	
道路防災事業	42.790	
身近な道改善事業	52.515	
道路改良事業	123.508	
道路施設補修事業	70.993	橋梁修繕2.918 舗装補修68.075
道 路 計	330.340	
緊急河床掘削事業	40.000	
河川海岸改良事業	31.000	
河川施設災害防止緊急対策事業	103.000	
河 川 計	174.000	
急傾斜地崩壊危険区域緊急伐採事業	1.485	
急傾斜地崩壊対策事業	35.000	
砂防施設再生事業	8.000	
砂防施設・急傾斜地災害防止緊急対策事業	142.650	
砂 防 計	187.135	
地域の安心基盤づくりサポート事業	2.800	
そ の 他 計	2.800	
合 計	694.275	

(4) 災害復旧事業進捗状況調書

(建設災害)

年災別	決定工事費		30年度までの実施額			残工事		
	箇所数	金額A (千円)	箇所数	金額B (千円)	B/A	箇所数	金額C (千円)	C/A
					(%)			(%)
28災	0	0	0	0	—	0	0	—
29災	1	12,924	1	12,924	100.0	1	12,924	100.0
30災	11	67,695	0	0	0.0	11	67,695	100.0
計	12	80,619	1	12,924	16.0	12	80,619	100.0

(港湾災害)

年災別	決定工事費		30年度までの実施額			残工事		
	箇所数	金額A (千円)	箇所数	金額B (千円)	B/A	箇所数	金額C (千円)	C/A
					(%)			(%)
28災	0	0	0	0	---	0	0	---
29災	0	0	0	0	---	0	0	---
30災	0	0	0	0	---	0	0	---
計	0	0	0	0	---	0	0	---

(5) 検査箇所調書

年度別	27	28	29	30	摘要
検査箇所	57箇所	52箇所	46箇所	63箇所	1件あたり
請負金額	1,213,311千円	1,040,348千円	859,376千円	1,391,031千円	500万円以上8,000万円未満の工事

4. 用地登記事務処理状況

平成31年3月末現在

年度 区分	昭和38年 ～平成9年	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	合計
取得筆数	13,760	238	209	162	222	228	201	210	191	130	112	86	58	72	45	71	137	37	51	38	70	41	16,369
29年度までの 処理筆数	13,516	232	198	147	222	228	201	210	191	130	112	86	58	72	45	71	137	37	51	38	69	0	16,051
30年度中の 処理筆数	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	41	46
残筆数	244	6	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	272
(%) 登記率	98.2	97.5	94.7	93.2	100.0	100.0	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	98.3

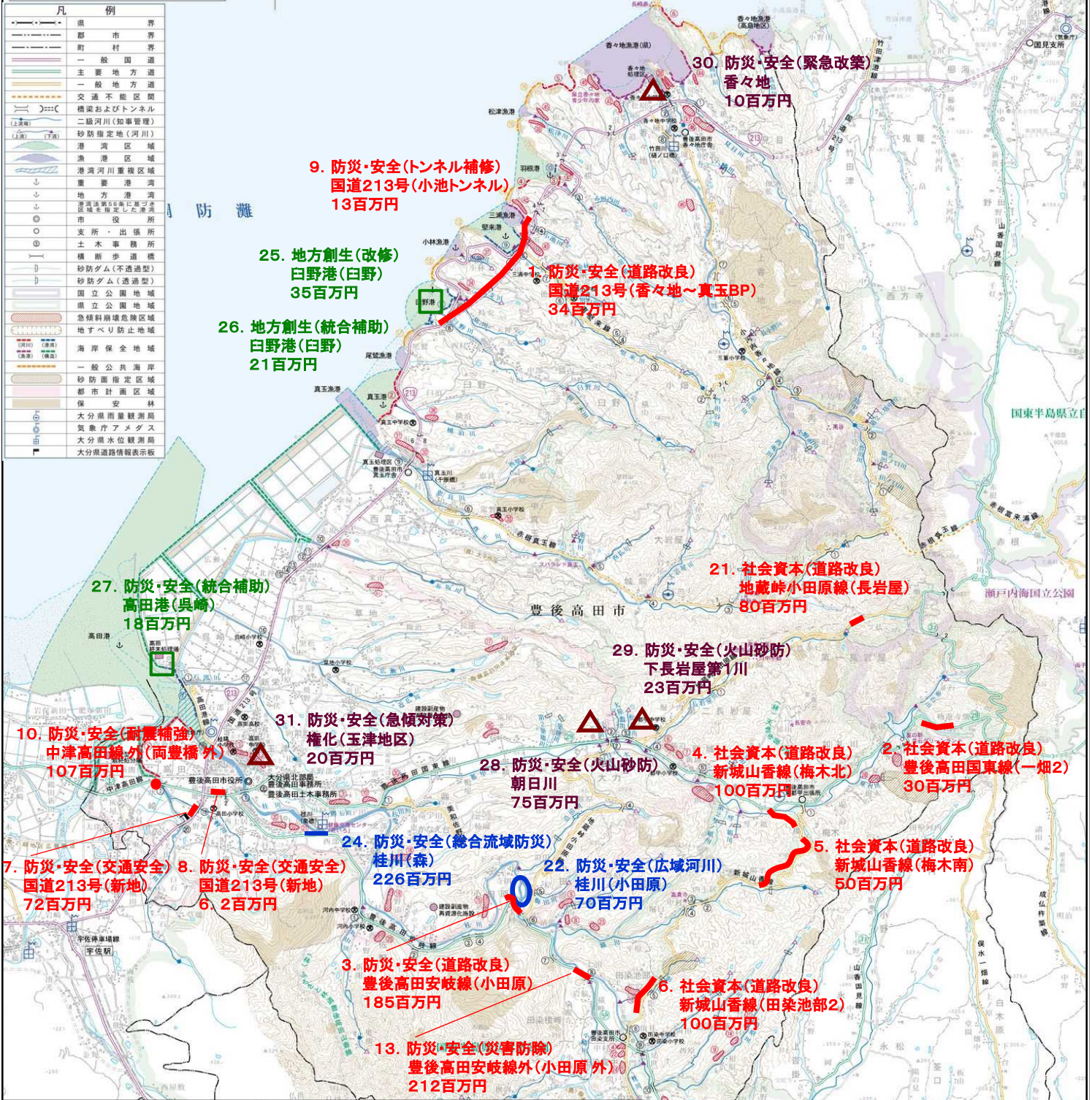
大分県豊後高田土木事務所管内図

令和元年度 公共事業等施工箇所図

(R1年 8月 9日時点)



凡例	
—	県界
—	市界
—	町界
—	村界
—	一般国道
—	主要地方道
—	一般地方道
—	交通不能区間
—	橋梁およびトンネル
—	二級河川(知事管理)
—	砂防指定地(河川)
—	港湾区域
—	漁港区域
—	港湾河川重複区域
—	重要港湾
—	地方港湾
—	港湾500メートル以内の区域を指定した港湾
—	市役所
—	支所・出張所
—	土木事務所
—	横断歩道橋
—	砂防ダム(不透透型)
—	砂防ダム(透透型)
—	国立公園地域
—	県立公園地域
—	急傾斜崩壊危険区域
—	地すべり防止地域
—	海岸保全地域
—	一般公共海岸
—	砂防圏指定区域
—	都市計画区域
—	保安林
—	大分県雨量観測所
—	気象庁了メダス
—	大分県水位観測所
—	大分県道路情報表示板



その他、管内で実施の事業

- 11. 12. 防災・安全(橋梁補修)
国道213号外(界外)
31百万円
- 14. 15. 防災・安全(舗装補修)
管内一円 33百万円
- 16. 17. 防災・安全(橋梁点検)
管内一円 15百万円
- 18. 防災・安全(附属物点検)
管内一円 3百万円
- 19. 20. 防災・安全(のり面土工構造物点検)
管内一円 5百万円
- 23. 防災・安全(総合流域防災)
山国・国東圏域(樹木伐採・土砂撤去)
桂川 24百万円
- 32. 防災・安全(基礎調査)
管内一円 21百万円

凡例	
—	道路事業
○	河川改修事業
△	砂防事業
□	港湾事業